

国語科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて

ア 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと ア	イ 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと エ
目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

	児童・生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
低学年	<p>ア 目的に合った材料を集めることに課題がある。</p> <p>イ 相手の考えを落とさないように捉えることに課題がある。</p>	<p>ア インタビューや複数の資料から情報を収集するとき、目的を正確に捉え、その目的に合った情報を収集する場面を設定する。</p> <p>イ 自分が知りたい内容に関する言葉に着目できるようにサイドラインを引くようにする。</p>	<p>ア 年間を通して</p> <p>イ 年間を通して</p>	
中学年	<p>ア 目的に合った集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合うことに課題がある。</p> <p>イ 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを広げることに課題がある。</p>	<p>ア インタビューや複数の資料から情報を収集するとき、目的意識をもち、目的や意図に応じた情報を収集し、比較・分類する場面を設定する。</p> <p>イ 自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、話し手の考えと比較していけるようにする。</p>	<p>ア 年間を通して</p> <p>イ 年間を通して</p>	
高学年	<p>ア 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。</p> <p>イ 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを広げ深めることに課題がある。</p>	<p>ア インタビューや複数の資料から情報を収集するとき、見通しをもって、目的や意図に応じた情報を収集し、分類・整理し関連付け伝え合う内容を吟味する場面を設定する。</p> <p>イ 自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめていけるようにする。</p>	<p>ア 年間を通して</p> <p>イ 年間を通して</p>	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

【協働的な学び】

全学年 一人1台端末(ロイロノート等)の画面配信により資料を提示する。
友達と考えを共有・交流する。【重点:3~6年】

【個別最適な学び】

低学年 書字に困難がある児童には、一人1台端末を活用し、組み立てメモ等を作成する。【重点:2年】
説明文の学習では、一人1台端末を活用し、観点となる重要な語句に線を引き、まとめる。
【重点:1年】

中学年 思考ツールとして一人1台端末を活用し、気付いたことや考えたことを分類・整理する。

高学年 思考ツールや目的に応じた情報の取捨選択のために、一人1台端末を効果的に活用し、分類・整理したり結び付けたりする。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

全学年

- ・文章を理解したことや考えたことを友達に伝える時間を設定する。
- ・読み物教材の単元のはじめに「この学習で考えたいこと」を自分の言葉で書く。
- ・めあてを全体で共有する。
- ・授業毎または単元の終わりに振り返りを記録し、できたこと・次につながることを明確にする。